

日本共産党 前杉並区議会議員

X(旧 Twitter) ID: @akikocurry



のがき 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和



2025年2月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

防災・防犯、子ども、住まいの確保など

岸本区長 区民応援の新年度予算(案)の概要を発表

1月31日、岸本聡子区長は記者会見を開き、杉並区の2025年度の当初予算(案)を発表しました。

岸本区長は予算編成にあたっての基本的な考え方として、①区民のいのちと暮らしの安全・安心を守る、②持続可能な財政の健全性の確保、③総合計画・実行計画の経費を確実に計上する、と語りました。

全世帯へ防災・防犯カタログギフト

いつ起きてもおかしくない災害や強盗などへの対策として、防災・防犯用品カタログギフト三千円分を全世帯に配布します。各種情報も掲載しており、ご自宅での保存版マニュアルにもなります。

区民参加型予算では井草森公園にソーラー一園灯を、駅前広場にLEDソーラー街路灯給電スポットを設置します。これらは災害時にスマホを充電することも可能です。

子どもに関する取り組み

区は「子どもの居場所づくり基本方針」の策定を進めるなかで、児童館25館の存置、7中学校区に新たな児童館(中・高校生機能優先館)の整備を検討します。

また、子ども(小中高生)の体育施設使用料の無料化や予約不要の「一般使用」枠の拡充に向けた検討も始めます。



会見する岸本聡子区長

会見動画と予算案の資料等が以下からご覧いただけます▼



子ども食堂への支援や放課後等居場所事業の拡大、済美擁護学校中学部対象の放課後等居場所事業モデル実施の準備への予算も計上されています。

住まいの確保に向けた支援

党区議団が求めてきた家賃補助制度がいよいよ実現します。

対象は区営住宅の抽選に落選した低額所得のひとり親や多子世帯で年間30万円を助成します。また、転居費用の助成(単身世帯15万円、2人以上20万円)も行います。「住まいは権利。安定した住まいの確保は健康で文化的な生活に欠かせない」という岸本区長の公約の実現です。

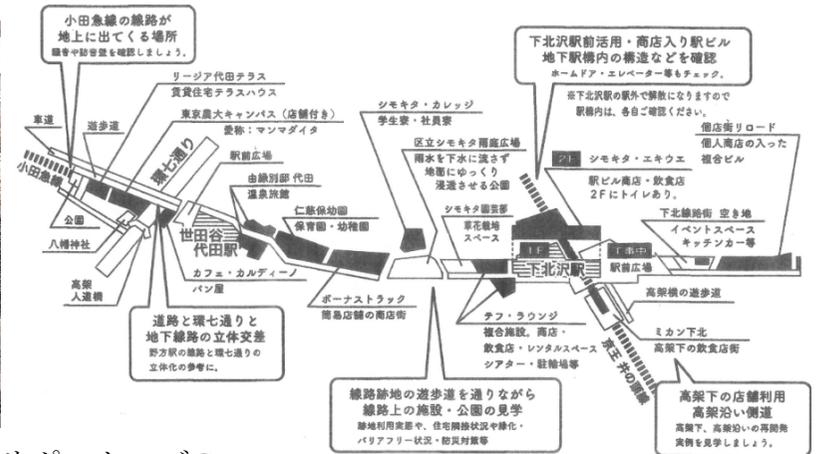
新年度予算案は12日からの第1回定例会で審議されますので、ぜひ傍聴にお越しください。

西武新宿線の野方～井荻間は地下化に

小田急線地下化後の「下北線路街」などを見学しました



シモキタ雨庭広場



【今回歩いたエリア】

1月15日、野垣あきこサポーターズS I(下井草・井草地域後援会)主催で、連続立体交差化事業で地下化となった小田急線下北沢駅周辺の線路跡地活用のフィールドワークを行いました。

緑地、飲食店街、保育園など線路跡地の有効活用の事例を見学

小田急線の代々木上原～梅ヶ丘駅間(約2・2km)は地下化され、2013年に東北沢、下北沢、世田谷代田の3駅が地下駅となりました。9箇所の踏切が廃止され、交通渋滞や騒音被害が解消されました。

今回は線路跡地を活用した全長1・7kmの「下北線路街」などを見学してきました。

世田谷代田駅の周辺

最初は世田谷代田駅で下車。小田急線が地上に出てくる場所を見ました。線路のすぐ北側には小学校があり、地下化によって騒音が改善された大きな事例です。

線路跡地には阿佐ヶ谷住宅のような低層の賃貸集合住宅があり、子育て世代の自転車が置いてありました。

他にも箱根温泉のお湯を運んできた旅館や、102名定員の認可保育園、小規模な飲食店街など多彩な施設がありました。

下北沢駅～東北沢駅の周辺

私が一番気に入ったのはシモキタ雨庭広場です。雨水を下水道に直接放流せず一時的に貯留し、ゆっくりと地中に浸透させるための植栽空間で、すり鉢状の低い所に地名の「沢」をイメージして作ったとのこと。

植物を守り育てる一般社団法人「シモキタ園芸部」の拠点や自然観察エリア、堆肥などを作る場所もありました。

下北沢駅の地上部にはカフェやレンタルスペースなどの複合施設があり、吹き抜けの駅ビルはとても開放的な作りです。

東北沢駅までは雑貨屋など個人商店の入る複合ビルやホテル等が続いていました。

跡地活用とまちづくりは住民とともに

下北線路街は、2022年に全施設が完成。住民や商店街等、下北沢に関わる人たちが開発者の小田急電鉄と継続的に議論を重ね、この地域にふさわしい街づくりが進められたそうです。

西武新宿線は高架化より地下化にすることで跡地活用の可能性が大きく広がると感じました。杉並区の「下井草まちづくりラボ」でもぜひ考えていきたい問題ですね。

大勢のご参加ありがとうございました

野垣あきこ地域 2025年新春のつどいを開催しました



2月2日、井草地域区民センターで「野垣あきこ地域新春のつどい」を開催し、10代～80代まで39名が参加しました。

オープニングはフラダンスから。心地よい音楽と踊りでスタートしました。

その後、野垣から杉並区の新年度予算案の特徴について報告しました。

スマートフォンでカンタンSNS講座

今年の6月は都議選、7月は参院選があります。日本共産党は、政策や候補者の魅力をショート動画や公式LINEで発信しています。

今回は、原田あきら都議と吉良よし子参議院議員のユーチューブ動画を見て、多くの人に拡散してもらうために、スマホを使った簡単なSNS講座を行いました。

既にSNSを使いこなしている方もいましたが、分からない方に対しては若い参加者が丁寧にサポートしました。

地域の要求も多数寄せられ

参加者からの発言では、地域にバス路線が欲しい、災害時の福祉避難所について、児童館新設への意見などが出されました。旧若杉小跡地の活用、西武新宿線の地下化

と1月に行った下北沢フィールドワークの報告(下写真)もありました。

みんなで歌おう 平和の歌

地域で合唱団の活動をしているメンバーがリードし、第九の替え歌「われらの第九」や「約束の歌」をみんなで歌いました。

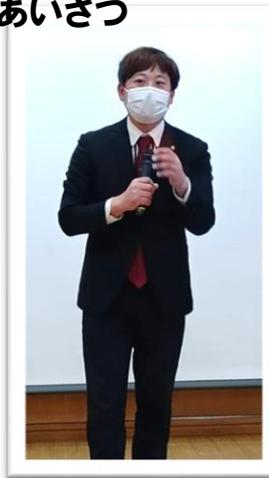
どちらも憲法9条や平和を守ろうという素敵な歌詞でした。

原田あきら都議もごあいさつ

途中から原田あきら都議も駆けつけ、挨拶と都政報告を行いました。

今話題の都議会自民党の裏金問題についての調査や記者会見などの話は大変興味深く、みんな真剣に聞いていました。

参加されたみなさん、お疲れ様でした。



都議選・参院選に向けて

原田都議のYouTubeチャンネルを開設！公式LINEも

今やSNSは、選挙でたくさんの人に候補者や党の魅力を知ってもらう上で無くてはならないツールとなっています。

日本共産党杉並地区委員会はSNSに強い党を目指し、YouTubeやLINE公式等でみなさんにつながる取組を始めました。

SNSで日本共産党を応援・拡散してね

6月の都議選で三期目をめざす原田あきら都議の活動をYouTubeで発信する「原田あきらチャンネル」を開設しました。(左)

原田都議が都政について語る1分程度のショート動画などがアップされています。

ぜひ動画をご覧になっていただき、チャンネル登録をして「いいね！」のボタンを押してください。応援のコメントもよろしくお願いします。その数が多いほど、おすすめ動画として多くのユーザーに表示され、拡散されていきます。

2つの公式LINEができました

7月には参院選があります。吉良よし子参議院議員の「吉良よし子公式」LINE



ができました。吉良さんの国会質問や街頭演説のお知らせ、対談や趣味を語るトークなども発信しています。

「JCP杉並【公式】」は杉並の日本共産党の情報を発信しています。党区議団・都議団からのご報告や、区内での党のイベントなどを発信しています。

どちらもスマホのカメラで上記のQRコードを撮影すると、LINEの友だち登録ができます。これは！という情報や動画がありましたら、ぜひご家族やご友人などに転送して拡散してみてください。

みなさんと一緒に新しい政治をつくり、政策で選んでもらう選挙にするため、ご協力をよろしくお願いします。

【あきこの部屋】

節分の豆まきが終わって、次のイベントは3月3日のひな祭りでしょうか。数年前に節分の豆が余ってしまい、捨てるのがもったいないのでネットで活用方法を調べ、ひじき煮に入れたことを思い出しました。

コンビニなどでは恵方巻のロスが大量に出るという話を聞きます。過度な商業主義による大量生産大量消費の時代は終わらせたいですね。そういえば、ひなあられには砂糖をまぶした煎り大豆が入っていますが、昔ながらのフードロス対策なのでしょうか？

